

最悪の酪農情勢を乗り切るための打開策としての提案

2022.11.28

安全安心な国産牛乳を生産する会

酪農および畜産業界は歴史上始まって最大の危機です。この状況が今後数か月つづくと同業として崩壊します。国産の牛乳・乳製品・牛肉の生産はほとんどなくなります。

酪農畜産農家の廃業倒産に連動して取り巻く関連産業や雇用も崩壊していくでしょう。

諸物価の高騰や為替レートの問題も大きいですが、家畜の飼料の高騰が最も影響が大きく、2021年後半から輸入飼料の価格が急激に高騰し、2022年10月末で牛乳1kg生産するための飼料経費が、1kgの生産乳価を超えている農家も多いようです。非常に成績の良い農場でも80~90%になっています。

2020年の頃は正常な農家は、この乳飼比は50%から60%でした。この時でも決して楽な産業ではありませんでした。今回は本当に限界を超えました。

この状況を政府や官庁の方々さらに国民の消費者の皆様に早急に理解して頂きたい。

もう時間がありません、早急な打開策・援護策がなければ、雪崩的に廃業倒産していくでしょう。

現状も多くの補助が国をはじめ各県市町村から出ていますが。経営の状況があまりに酷く効果は全くありません。

早急な支援策として下記内容を検討して頂きたいとおもいます。

- **現状の昨年からの酪農廃業数と生産乳量の減少を見れば、今後の減少を鑑みれば不足こそ問題とします。現在余っている粉ミルクを国で買い上げ国内外無償で配る事はできないでしょうか。**

今、生産過剰といって生産調整のような政策をとられると今後激しく減少する酪農情勢からすると国産牛乳生産量は激減します。さらに輸入が滞れば国内の牛乳乳製品はひっ迫します。

- **現在の酪農家は1ヶ月で1頭が1万円損失する経営状況です。年内に緊急処置として1頭5万円の援助金をお願いします。**

- **経営存続のために、飼料価格高騰分の全額補助を今すぐお願いしたい。**

例1) 2020年から2022年10月で比べれば配合飼料で27000円/トン上昇しています。輸入粗飼料は、今後出回る今年物の価格を加味すると、10月末での26000円/トンこれに新物の値上げ分20000円/トンをプラスすると、46000円/トンです。これを乳価に換算すると、全飼料の2020年との差額は36円/kgです。単純に25kg/頭日摂取するとすれば、生産乳価1kgあたり36円の不足になります。2022年11月よりの乳価10円/kgを加味すれば、あと26円不足です。(千葉酪農協価格調査より)

飼料高騰の2021年からの飼料の上昇分だけの価格です。

経營的には26円の補填では再生産可能な健全な経営は不可能です。

保証乳価や酪農マルキンのような恒久的な補助政策や再生可能生産乳価ができるまで補助して頂きたい。

- **自給飼料増産補助事業が今後推進されてくるものと思われませんが、国のビジョンを明確に出していただきたい。**

畜産経営で国産自給飼料を主体にする形態での経営とすれば、土地や機械や労働力さらには、飼養規模や生産目標も異なってきます。輸入飼料主体経営とはまったく異なる方向となります。

数年で経営の方向転換は不可能です。

自給飼料は輸入飼料に比べ安価でできるものではありません。全ての経費を算出して計算すれば、2022年11月現状の輸入粗飼料価格と大きな差は無いと思います。

この自給飼料補助金は2019年の輸入乾草価格に匹敵する補助金を補償して頂きたい

さらに、日本の現状では現在の飼養頭数を賄う土地条件がありません。どのように進めていくのかも早急に示していただきたい。

飼料の穀類分は絶対的に自給不可能です。政府としては、これも稲作転用の WCS・米や粕類の利用を推進するとする。そのような経営に優先的優遇処置が行われるとすれば、生産量や規模は現状の経営と異なります。この点も早急に明確にしていなければ経営継続は不可能です。

- 諸外国の行っていると同じような国の補填による保障乳価や飼料の高騰などの時の生産乳価にプラスの補助金さらには酪農マルキンのような恒久的な補助政策を立て産業として守っていただきたい。
- 消費者への食品価格高騰時の保護支援金の検討をお願いします。

急激に食品価格が高騰した場合に消費者に対して国が支援するシステムをお願いします。

急激な高騰は買い控えが起こります。また食糧の供給不足が起こってれば飢餓すら起こります。

アメリカで行っているような、一定の価格を超えた場合は国にて購買補助金をだしてください。

酪農産業が崩壊すれば、酪農から子牛を供給している牛肥育農家も崩壊します。

日本から牛乳や乳製品と牛肉が消える大危機が現実今起こっています。

多くの皆様がたの連携ご協力でよい方向に進めていきたいと思えます。

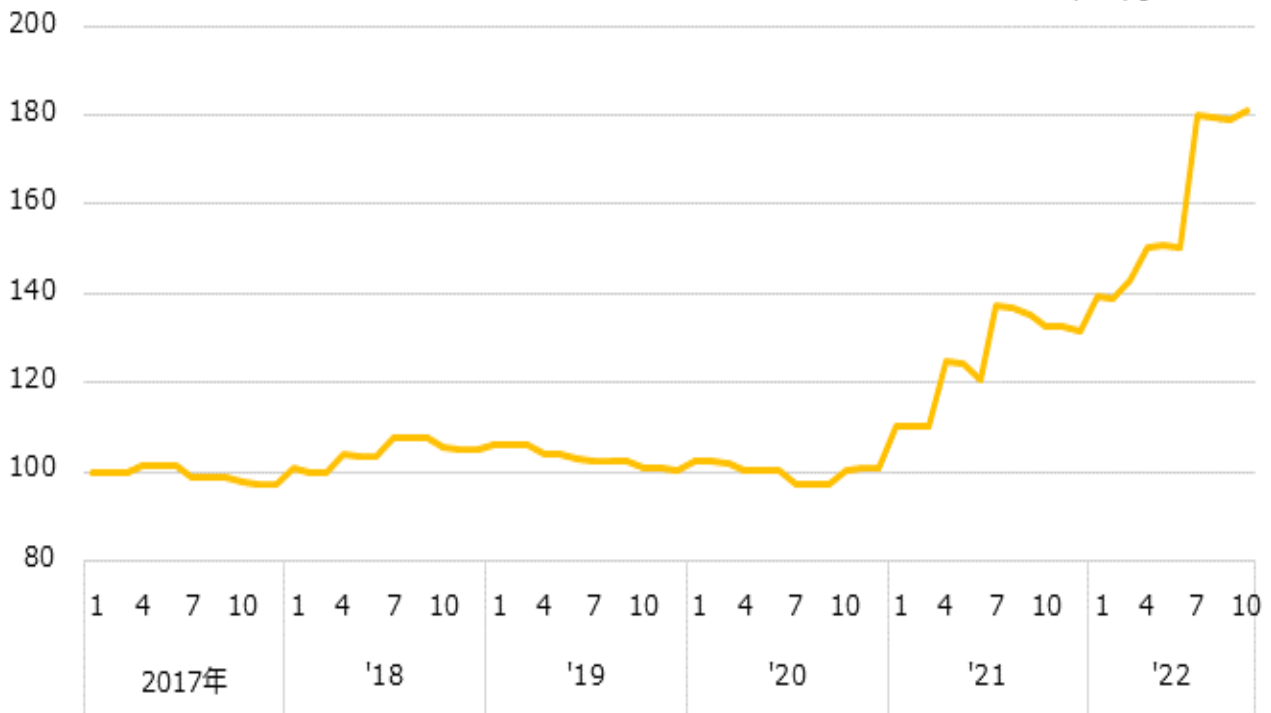
安全安心な国産牛乳を生産する会 事務局 千葉市若葉区源町106 アルテミス101 加藤 博昭

Tel:[090-8891-6259](tel:090-8891-6259) mail:momoo@cocoa.ocn.ne.jp URL:<http://anshin-gyuny.chowder.jp/>

月次・消費税を除く

[2020年=100]

2022年10月: 181.3



— 月次・消費税を除く

© jp.gdfreak.com